

一立 大連市議会だより

2008
11.1
No. 122
TENDO



10月5日に、市制施行50周年を記念して、小中学校の児童・生徒20人が参加し、模擬議会が行われました。将来のまちづくりや地域のさまざまな課題などについて質問があり、市議会議員がその答弁を行いました。

9
月
定
例
会

小中学生による模擬議会を開催 …… 特 集(P 2～3)

臨
時
会

(愛宕沼) 権利を明確化させるべきでは …… 一般質問(P 4～9)

臨時会で補正予算を可決 …… (P 15)

天童市市制施行50周年記念

模擬議会



小中学生が、一日議員 さまざまな質問や提言

10月5日(日)に、市制施行50周年を記念して、模擬議会を開催しました。

一日議員となった20人の小中学生の皆さんは、住みよいまちづくりや地域の身近な問題について、質問や提言を行いました。主な内容について紹介します。



村山 幹弥(山口小6年)

一つはそう音の問題だが、夜寝ているときも大きな音をたてて、バイクや車が通る。スピードを出せないようにセンターラインを工夫してほしい。二つ目は、サルのはがいである。山に実のなる木を植えて、サルも山で生活できるようにしてほしい。あるていどのほかくなどもしてほしい。



金田 蓮(高揃小6年)

様々な、環境にやさしい取り組みが行われるようになって、「ごみは、自分でごみ箱に捨てる」という基本的なマナーが守れなければ、環境はいつか改善されない。市街地にごみを分別して捨てることのできるようなごみ箱を設置したらどうか。



菊地 瑞穂(荒谷小6年)

天童市は、事故や犯罪が少ない、安心できる町だと思う。ですが、最近ニュースでこわい事件を耳にするたび、天童でもそんな事件が起きてしまうのではないかと心配になる。将来も安心して過ごすことのできる天童であるために、道路やが灯にお金を使ったほうが良いと考える。



大友 理子(天童三中3年)

冬は日没が早く、通学路は周りに田畑しかないので、吹雪のときは、さえぎってくれるものがない。下校中の不審者出現について、全校的に話題になっている。児童・生徒が安全に下校できるように、スクールバスのような制度を作ってみてはどうか。



大内美沙季(天童四中3年)

近年、不審者の発生に比例するかのよう公園で遊ぶ子どもが減っている。家の中で、ゲームなどをするだけの遊びでは寂しい。市内の公園に時計、スピーカーを設置し時間を意識させ、暗くなる前までに家に帰ることを習慣づけることが大切である。



今野真理子(天童北部小6年)

ここ1年で、北部小近くの交差点で2件の交通事故が起こった。子どもの命を守り、みんなが安心して暮らせる、事故のない天童市にするため、交通量の多い交差点には、押しボタン式の信号機を設置するなど、交差点の安全対策が大切だ。



押野 瞳(成生小6年)

天童は、自然豊かで町並みもきれいで、これほどくらしやすい町はない。ラ・フランス、さくらんぼや米など、天童の自慢はおいしい「食べ物」だが、思っている以上に全国には知られていない。天童の自慢をもっと上手に全国に宣伝すべきだ。



本間 詩織(蔵増小6年)

学校の近くには国指定史跡の西沼田遺跡がある。古代米を使つての「もちつき大会」や「火おこし大会」、1泊2日で、遺跡での「サバイバル研修」をしたら楽しいと思う。このように地域の特色を生かして天童市をもっと活性化していけたらいいなと思う。



柏倉 日向(長岡小6年)

天童市内に一つでも大型店があれば、そこへ行くとそこだけですべての用事が済んでしまう。車もあまり使わずに地球環境にもいい。歩道で、木の根っこがもりあがり、木の枝が出ていてあぶない。つえをついて歩く人や目の見えない人も安心できるように整備してほしい。



志摩 綾乃(天童一中3年)

私達の校舎は、41年という長い歴史の跡が刻まれ、年月が経つにつれ老朽化が進んでいる。解決策としては、補強するか、安全な場所に建て直すことが挙げられる。もし、大きな地震が起きれば、裏の山が崩れるかもしれない。安心、安全で快適な学校生活を送れるようにしてほしい。



模擬議長
鈴木 僚
(天童一中3年)

今回の模擬議会は、ぼくたち小学生のまちづくりに対する考えを、議員のみならず市民のみなさまに知ってもらう機会だったと考えます。
今回、議長をすることになり、今まで考えたことのなかった市政について考えるいい機会になりました。
天童に住む一人としてわずかな力だけれど、天童のために何ができるかを考えながら行動していこうと思います。



福田 初音(津山小6年)

私の住んでいる地域に新しい道路が開通し便利になったが、その道路は地域集落を分断して通っている。信号機から信号機までの途中に横断歩道がない。交通安全と横断しやすくするため、横断歩道の設置が必要だ。



設楽 佑介(千布小6年)

通学路にそってせきが流れているが、安全対策が十分でない。転落防止のために今せっちされている白い鉄の棒をとり、せきの上にふたをすれば、登下校するときも、人があるたり自転車が走るスペースを造ることができる。



鈴木 優斗(天童二中3年)

住みよいまちづくりのために、学校活動としてのゴミ拾いなど、地域の環境づくりに努めていく必要がある。また、「将棋のまち天童」で将棋を楽しむ人が少なく感じられる。公民館や学校などの施設に、将棋を貸し出したり、将棋教室を開いたりするなど、市を盛り上げる活動が必要だ。



松田 捺未(天童二中3年)

中学校の再編成について、安全や通学距離の面から、中学校の位置関係を確認した上で、再編成した方がいいと考える。また、通学に関連して、暗くなってからの安全面などから、自転車通学の許可を広げるか、市営バスを地域や時間帯によって運行したらいと思う。



大江怜央奈(天童四中3年)

東京に就学旅行に行って、改めて天童の良さを認識させられ、天童に住んでいることを誇りに思った。
市町村合併問題が報道されているが、私は反対だ。今の地域構成で、お互いの地域の良さを出し合い、ともに助け合って生きることが大切だと思う。



齋藤 博生(天童南部小6年)

世界的に地震が頻繁に起きている。日本では学校に対して耐震対策が行われているが、天童ではどの程度進んでいるのか。少しでも早く安心して学べる学校であってほしい。

市立病院が新しくなり、いろいろな検査ができ心強い病院になったと聞く。全国的に医師不足が問題になっているが、対策は十分か。安心してかかれる市民病院であってほしい。



瀬野 了斗(天童中部小6年)

倉津川のことを通して、天童市の防災について考えているが、災害はいつ起こるかかわからず、心の準備が必要だ。倉津川の水がどのくらいになったら避難すればいいか、子どもでもはっきりわかる目印がほしい。これがあると、市民は自分の目で危険を感じ、自分自身で命を守ることにつながる。



瀬野 尚子(寺津小6年)

学校へは短い道のりだが、通学する時間帯に車が多い。本当は、信号機を取りつけてほしいが、せめて見通しの悪いところにはカーブミラーをつけてほしい。

街灯だが、夜になると点滅がみられるのがあり、気になっている。ぜひ、街をもっと明るく安全に生活できるように街灯を整備してほしい。



目黒 貴史(天童三中3年)

天童市では、緑の羽根募金やレジ袋の有料化、リサイクルなど環境に良い活動が行われている。緑の羽根募金はどのように生かされたか、実績を報告してほしい。

レジ袋の有料化は、大型店舗だけでなく、すべての店で実施できないか。徹底できれば、環境対策の効果はさらに上がる。



市政に対する一般質問



市政に対する一般質問は、9月2日、3日の2日間の日程で、16人の議員が行いました。次期市長選挙、不登校対策などについて、市長、教育長の見解を求めました。

次期市長選挙

現在の心境と

辞意に至った理由は



赤塚幸一郎議員

次期市長選挙に向けて、四選出馬の意向を持っているのか質問すると通告していたが、市長は先日記者会見を開き不出馬との報道があった。

この定例議会の場で正式に説明してほしいので、改めて現在の心境や辞意に至った理由を伺いたい。

遠藤市長 今年、市政施行50周年の大きな節目を迎え、長年の懸案であった事業なども道筋がついたと考えている。次期市長選については、健康上の不安もあり、新しい人に託したいと考えている。

今後は積み残された課題解決を図るため残された任期を精いっぱい努力する覚悟である。

なお、記者会見を開いた経過については、定期的に開催されている部長会において、



荒谷水源地史跡公園開園式であいさつする遠藤市長

これまでの50年を振り返り、今後ますますの市勢の発展に向けて、議員各位また市民の方々に深いご理解とご協力をいただきたい。

質問者と

質問事項

(☆印は会派名)

☆つばさ21

赤塚幸一郎議員

*次期市長選について

*農業振興策について

狩野佳和議員

*市立各学校の耐震化対策について

*温泉街の環境整備について

☆日本共産党天童市議団

石垣昭一議員

*地方自治体としての温暖化対策の推進について

伊藤和子議員

*介護保険の見直しに向けた考え方について

*児童・生徒の不登校対策について

☆政和会

矢吹栄修議員

*舞鶴山開発の具体的展望について

松田光也議員

*ゴミ減量など3R推進に伴うレジ袋の有料化について

*危機的なイバラトミヨの生息地と高木川の環境保護について

結城義巳議員

*教育の地方分権について

*農地転用について

後藤和信議員

*学校でのアレルギー疾患の対策について

*水道事業について

小松善雄議員

*天童古城西まちづくりについて

*市長の思いについて

☆かがやき

秋葉 忠議員

*農業問題について

武田達郎議員

*二階堂屋敷跡の発掘調査着手について

*市有財産について

鈴木照一議員

*教育行政について

*子育て支援について

*舞鶴山の環境整備について

森谷仙一郎議員

*農業政策について

*夏まつりについて

山口桂子議員

*天童市が管理する駐車場について

*天童市環境基本計画の進捗状況について

*女性の各種審議会登用について

矢萩武昭議員

*市長の進退について

*スポーツの振興について

無会派

佐藤正男議員

*市制施行50周年を迎えて

倉津川を整備し 新たな観光スポットに



狩野佳和議員
「天童は活
気、元気がな
くなつたね。」

を市役所王将橋まで延長して、
新たな観光スポットを造る考
えはないか伺いたい。

と言われる機会が増えた。天
童温泉街の活性化のために①
観賞客がたくさん訪れるよう
なきれいな倉津川にし、併せ
て遊歩道を整備する。②倉津
川沿いの枝垂桜ライトアップ

遠藤市長 倉津川の遊歩道の
整備については、緑地の植栽
幅が1・8メートルしかなく、桜の
木を残して遊歩道を設置する
ことになれば幅員6メートルの市道
を狭くする必要がある。する
と、人や車の通行に支障をき

たすことが心配されるので現
状では困難と判断している。
枝垂桜のライトアップ事業
については、平成17年度から
天童温泉協同組合で取り組ん
でいただいている。当初は温
泉神社前の飛車橋から金将橋
までの約350メートル区間であつ
たが、今では市民文化会館前
の歩橋まで延長された。今後、
市庁舎前の王将橋まで延長さ
れる計画があると聞いている
ので、天童温泉協同組合と協
議を行い、実現できるような努
めていきたい。

市内小・中学校の 現状と対応は



伊藤和子議員
文部科学省
の学校基本調
査速報では年

解消に向けた取り組みを、今
後どう進めるのか。
水戸部教育長 本市の平成19
年度における、病気以外で30
日以上欠席した児童生徒は84
名で、全体の1・49%で、全
国平均の1・20%をやや上
回っている。実態を見ると、
いろいろな要因が絡み合っ
ているケースが多く、学校、家

間30日以上欠席した「不登校」
の小中学生が2年連続増加の
傾向であると発表した。天
童市の小・中学校の現状と対
応は。
また、不登校児童・生徒の

庭とも対応に苦慮している。
不登校対策として、児童生
徒相談専門員の配置や適応指
導教室の開設など対応してき
た。また、昨年度より「問題
を抱える子ども等の自立支援
事業」今年度は「スクールソー
シャルワーカー活用事業」の委
託を受けて、不登校児童生徒の
家庭との連携や教職員研修の
充実に取り組んでいる。
今後とも、市内小中学生の
不登校が一人でも減るよう、
行政、学校、保護者が連携し
て取り組んでいきたい。

推進に向けた取り組みは



石垣昭一議員
今、地域・
自治体レベル
でも温暖化対

策を推進することが求められ
ている。しかし政策課題とし
ての優先順位が依然として低
いことは大きな問題だ。野洲
市では多くの市民や事業者が
参加して地域新エネルギービ
ジョンを策定している。本市
の温暖化対策の取り組みにつ
いて伺いたい。

遠藤市長 天童市環境基本条



市役所でも温暖化対策に取り組んでいる

例の制定を受け、平成14年の
市環境基本計画を策定後、平
成19年に天童市役所地球温暖
化対策実行計画を定め、3つ
の取り組みを行っている。

一つ目は、市民一人ひとり
に日常生活と地球温暖化の関
わりについて意識を持つても
らうため、さまざまな環境教
室を開催している。また、市
内の小学4年生全員に環境パ
ンフレットを配布した。

二つ目は、市民の活動を支
援していくことで、昨年発足
された地球温暖化防止対策推
進会議では環境講演会を企画
するなどさまざまな事業を展
開している。

三つ目は、市役所で排出す
る温室効果ガスを平成14年度
と比べ、平成22年度までに
24%削減する目標を設定した。
燃料の使用量削減などに取り
組み、平成19年度の実績で、
予定より早く目標値を達成し
たところである。

開発の具体的展望は



矢吹栄修議員
舞鶴山を福島の花見山のように、年中

花が咲きもみじが紅葉する山にし、季節に応じた遊歩道を整備し、さらに樹の里親制を作って市民と共に植樹して市民の愛する山とすると同時に、観光客を誘客するといった、

将来への夢とビジョンを持つ具体的な展望があるのか、伺いたい。

遠藤市長 舞鶴山は、歴史的にも非常に豊富な遺跡などが散在しており、その実態を徐々に明らかにしていくことも大事なことと考える。整備については、民有地の公有化を図りながら、自然体

系を壊すことなく「観光とレクリエーションの森」として、緑多い自然豊かな舞鶴山の自然環境を生かしながら、遊歩道、案内板、広場、公衆用トイレなどの施設整備を実施し、市民の憩いの空間にしたいと考えている。

また、市制施行50周年記念事業の取り組みの一つとして「出羽の三森」の歴史の森整備基本構想策定市民懇話会を立ち上げ、貴重な出羽の三森の整備のあり方を検討しているところである。

地方の声は生かされているのか



結城義巳議員
教育分野に

ついては地方分権が進んでいないのではないかと。教育改革などにおいて、都道府県教育委員会や市町村教育委員会、すなわち「地方の声」が反映させられているのか。国と対等の立場で、意見を述べ合う「場」がないように思われる。必要でないのかを伺いたい。

水戸部教育長 山形県においては、平成13年度から全国に先駆けて少人数学級（さんさんプラン）が実施され、山形県教育の独自性を打ち出している。

を育むため、自立・共生・信頼を柱にした学校づくりを、市内16校が独自に進めることを目的としており、各学校の裁量を最大限尊重した予算措置をしており、県内でも誇れる施策である。

全国市長会では、平成19年3月に、地方の声として学級編成の権限を地方に移すことなどを盛り込んだ教育における地方分権推進に関する提案を行った。

協力者へ特典を考えているのか



松田光也議員
二酸化炭素の削減、地球温暖化防止の

ため、10月1日よりレジ袋有料化になるが、このレジ袋の有料化に協力する企業に対し、どのような特典を考えているのか、またマイバックを持参した消費者には、どのような

特典を考えているのか。本市の取り組みについて伺いたい。

遠藤市長 レジ袋削減に関する協定を締結し、レジ袋を有料化した企業ではレジ袋の販売による収益が出るほか、市からの直接の財政補助はないが、市が市報やチラシ、ポスター等で各事業所の取り組み

を紹介することにより、企業のイメージアップにつながるものが効果と考えている。消費者に対しての特典は特別考えていない。以前、フランスに行った時に、市民が日常的にマイバックを持参し買い物をしているという光景を目の当たりにして、市民が熱心にゴミ減量に取り組んでいると感心したことがあった。

本市においても、同様に市民の意識が高まりマイバックを持参する方が増え、環境保全につながるよう努めたい。

本市においては、平成13年度から、特色ある学校づくりを支援する事業を立ち上げた。現在は「天のわらべ・ディーセントプラン」として、重点的に取り組んでいる。この施策は本市の子どもたちに、今求められている「生きる力」



市内各校が特色ある学校づくりに取り組んでいる

職員研修をやるべきではないか

ものだが、場合によっては、職員が打つように保護者から要請されているため、年度始めに職員全員でエピペンの使用の研修を行っている。保管



後藤和信議員
日本学校保健会が示した

の保管管理や緊急時の使用に関する職員の研修をやるべきではないのか。

「学校のアレ

水戸部教育長

重篤なアレルギー

ルギー疾患に対するガイドライン」で、アナフィラキシーショックをおこした場合に効果があるエピペンの自己注射をだれでも可能と示された。生徒が所持しているエピペン

ギー症状であるアナフィラキシーショックの対応については、該当児童のいる学校においては、エピペンの使用を保護者と申し合わせている。エピペンは基本的に本人が打つ

について、できるだけ可能な限り保護者の理解を得ながら進めていきたい。

(注1) アナフィラキシーショックは蜂毒や食物、薬物等が原因で起こる、急性アレルギー反応のため、生命をおびやかすような危険な状態に陥ってしまうこと
(注2) エピペンIIアナフィラキシー発症時の治療に用いられる自己注射製剤

本市独自に柔軟な対応ができないのか



秋葉 忠議員
農地法施行規則に「農地転用制限の例

にならない場合があるが、柔軟な対応ができないのか。遠藤市長 農地転用については、法律、規則等により定め

外規定」があり、200㎡未満の農地転用については、「農地転用許可除外事項確認申請」をすれば、自己所有の農地に農舎建設が出来ることになっている。申請しても許可

ただし、農家の方が自らの農地に農業用施設などを建設する場合には、関係法令等の

要件を満たせば建設が可能な場合もある。

市民の方の個々の具体的案件については、農業委員会や農林課などで協力して相談窓口をなるべく一本化して、不便にならないよう最大の配慮で対応していきたい。



天童古城西まちづくり事業と街路事業の整備計画は



小松善雄議員
県施行の旧13号線の拡幅整備が県の事業費の大幅な減額によって整備計画に大きな遅れが出ている。今後の見通しについて伺いたい。また、住民から要望

遠藤市長 県施行の都市計画道路山形老野森線の街路事業は、国の厳しい財政状況により、地方道路整備に対する予算の確保が困難になってきていることから、事業の進捗が遅れており、平成21年度までの事業期間について、事業計画を変更し、事業期間の延長を行うと聞いている。

がある電線地中化や緊急を要するミニ防災公園、駐車場の確保及び狭い道路の拡幅や交差できないL字カーブの整備計画について伺いたい。

本市としては重点事業に位置づけ、国や県に対して強く働きかけを行っているところである。

また、電線地中化等については、まちなみ協定と調和のとれた良好な景観の創出と防災性の向上を図るためにも不可欠と考えている。道路幅員の確保、緊急車両が進入できる道路整備等についても、安心・安全なまちづくりを進めるためにも、財政状況も踏まえながら、地域の方々と十分協議を重ね整備推進に努めていきたい。



整備が進められている旧13号線

売却は慎重に すべきでないか



武田達郎議員

旧学校給食センター跡地は宅地として

契約時に学校経営計画書及び資金計画書を添付させ契約を締結すべきと思うが、考えを伺いたい。

遠藤市長 学校給食センター跡地について、柔道整復専門学校

の施設用地としてすべて購入したい旨の要望が市に出されており、用地の不動産鑑定を実施し、適正な価格で売却する方向で事務手続きを進めている。

1学年の定員が90人、3学年で270人の専門学校が経営される予定である。若者の定住や衣食住などを含めて、相当な経済効果が本市にもたらされると考えられるので、できるだけ支援して成功を祈りたい。

武田副市長 専門学校の開設には、山形県教育庁の学校設置の許可が必要であり、資金計画、事業計画などの審査を経て開校許可となる。

本市の対応、支援策は



森谷仙一郎議員

今年になり、農家を直撃したのが原油価格高騰による農業資材、肥料

飼料の値上げである。危機的状況で本市の対応、支援策が必要だが市の考えは。

また昨年策定された果樹産地構造改革計画の進捗と、果

樹生産農家の将来像をどのように考えているのか伺いたい。

本市の果樹の主要品目であるさくらんぼ・りんご・西洋なし・桃の4品目に、ぶどうとすももを加え、6品目の生産振興を図るため、その生産拡大と品質確保に努めている。

遠藤市長 原油価格高騰に対応して、農業生産団体等が施設用燃油を共同購入した場合の差額の一部助成、国の補助事業を活用した省エネルギー型農業機械導入の支援などを緊急的に実施してきた。

また、国や県に対して、農

産に取り組んでいきたい。

権利を明確化させ今後の 利活用に生かすべきでは



鈴木照一議員

愛宕沼は市街地に於いて重要な親水空間であるが、そこに発生する

権利と管理者が明確でない。現在、上水面の大半はゴルフ練習場、内水面は特定事業所が漁業権を行使している。

この現状を踏まえ、観光資源として大きな期待が持てる愛宕沼の今後の利活用について市の方針を伺いたい。

遠藤市長 愛宕沼は、平成14年3月に法定外公共物として、本市が国から無償譲与を受け、現在は市の所有となっている。

しかし、民間事業者が持っている漁業権は、更新されているにも存続している状況にある。しかも、天童市観光物産協会が、貸しボート等の業務を民間事業者に委託し、水面利用の権利を与えている現状である。

したがって、愛宕沼の利活用については、今後、錯綜している権利関係の調整を図つたうえで、都市計画マスタープランなどに示されている「観光とレクリエーションの森」の整備方針に基づき、緑に囲まれ、しかも都市部の調整池の機能を有する貴重な水辺空間として、老朽化している堤体の補強や、水質浄化、水辺環境の整備などを検討しながら、親水空間としての利活用を進めていきたい。



愛宕沼の権利関係の調整が必要

駐車場問題

市が管理する 駐車場の利用状況は



山口桂子議員
天童市が管理する各施設における駐車場の利用状況はどのように

なっているのか。特に美術館や図書館は、駐車場の空スペースが少なく、利用しにくいとの市民の声が多い。また、わくわくランド等に

不法に駐車している車もあるので、もっと安心して使用できるようにする考えは。

遠藤市長 市が管理する施設の駐車場は、各施設の運営時間や駐車場の利用形態が異なるので、利用者の利便性を優先しながら管理を行っている。美術館、図書館等は、一部を職員の駐車場として利用し

ているが、イベントがある際は規制し来場者に利用してもらっている。

わくわくランドには、森林情報館、道の駅等の駐車スペースを確保しているが、長期に放置されている車両がある。この車両については、警察など関係機関と連携を図り、所有者の特定と撤去命令通告を行い、施設利用者に支障がないよう、早急に対応する。他の施設においても、同様に安心して施設を利用できるように管理を徹底したい。

進退問題

市長の進退について



矢萩武昭議員
①遠藤市長の度重なる療養②収入役の強引な選任と突然の退任③20年度予算の修正問題等々より、市政の停滞と品位の低下が著しい。こうしたことから、市民の多くは、これ以上晩節を汚すことなく、明年3月まで

の任期を待たずに早期退陣を求める声が多いが、市長の考えを質したい。

遠藤市長 平成17年2月、3期目を指すにあたり、公約として掲げた天童病院の建設をはじめ、学校給食センターの移転新築、自主防災会組織の推進など市政運営に全力を傾注してきた。

今年、市制施行50周年の大きな節目を迎え、長年の懸念だった事業なども道筋がついたと考えている。次期市長選については、新しい人に託したい。

今後は、残された任期で積み残された課題の解決を図るため、精一杯努める覚悟であるので理解いただきたい。まず、当面は50周年記念事業が数多く予定されているので、関係各位の十分な理解、協力を得ながら進めていくことに専念したい。

市制施行50周年

天童市の来し方、行く末は



佐藤正男議員
天童市は、都市部で生活基盤整備として土地地区画整理事業・周辺部

で生産基盤整備として土地改良事業を継続すると共に、三つの中学校をほぼ同時に完成させるなどして発展したと理解している。

市制施行50周年を迎えて、天童市の来し方をどう振り返り、行く末をどう描いているのか。

遠藤市長 市制施行からの50年を振り返ると、これまでの先人の進取の気性に富んだたゆまぬ努力と、市民・企業・議会・行政が一体となって情熱的にまちづくりに取り組み、着実に人口が増加し、活力のあるまちとして、県内外から高い評価を受けてきた。このことに心から敬意を表し感謝をしたい。

今、時代は大きな転換期を迎え、安全で安心して生活ができ、市民が誇りと生きがいを持ってまちづくりを進めていくには、何よりも都市としての成熟と、市民生活の質の向上に努める必要がある。市民一人ひとりが生き生きと輝き、そして、時代を担う子どもたちが夢と希望を共感できる活力ある地域社会の実現を目指していくとともに、先人の方々が築いてきたまちづくりの成果を、未来へと確実に継承すべきものと考えます。



天童市は昭和33年に市制施行を行い50周年を迎えた

総括質疑

9月4日、提出された議案に対し、各常任委員会の審査に入る前に、総括的な質疑を行いました。質疑の主な内容は、次のとおりです。

質疑者一覧

◆ 日本共産党天童市議団

伊藤 和子

◆ 政和会

結城 義巳

◆ かがやき

矢萩 武昭

◆ 議第25号 天童市特別会計条例の一部改正について

工業団地造成

土地開発公社を機能させないことにならないか

結城議員 工業団地を造成し企業誘致をするのであれば、遅くとも数年前に天童市が市土地開発公社に業務を依頼し、同公社が土地を先行取得して造成し、企業へ売却するのが本来の事業の進め方でないか。これでは、土地開発公社を機能させないことにならないのか伺いたい。

國井部長 この度は、東長岡約4・5鈔について、工業団地として整備し分譲するた

◆ 議第24号 天童市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について

職員派遣

公益法人等にどのような場合派遣するのか

矢萩議員 条例改正に伴い、職員の派遣の形態がどのように変わるのか。また、どのような場合に公益法人等への派遣を考えているのか。

國井部長 公益法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律では、公益法人が市の事務または業務と密接な関係があり、その施策

の推進を図るために、人的援助を行うことが必要と認められる公益法人等に市の職員を派遣できるとしている。今回、公益法人制度改革によりこの法律が一部改正された。これに伴い市の条例を改正するものだが、派遣の形態は、従来と何ら変わらない。本市における派遣先団体としては、規則により社会福祉法人天童社会福祉協議会のみとなっているが、現在は職員を派遣していない。今後、法の趣旨に則ったケースが生じた場合、派遣を検討する。

◆ 議第26号 天童市市営住宅条例の一部改正について

市営住宅

暴力団員かどうかの判断はどのように行うか

伊藤(和)議員 市営住宅とその周辺住民の生活の安全を確保するため、市営住宅へ暴力団の入居を認めない改正であるが、暴力団員かどうかの判断は誰がどのように行うのか。

り交わり、情報交換の円滑化を図っていく。市営住宅の既存入居者や同居者には、暴力団員の該当者はいない。

経過措置があり、施行前は適応にならないが、現在、該当するものはいるのか。

瀧口建設部長 暴力団かどうかの判断には、警察との連携が不可欠である。天童警察署長と天童市長が暴力団員に関する情報提供等に必要



市営住宅には暴力団の入居は認めない

議会のうとぎ

■ 7月

- 15日 山形県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 19日 国会議員との懇談会（副議長、局長）
- 23日 市長要請総務教育常任委員協議会（ふるさと納税について）
- 23日 総務教育常任委員協議会（市文化財の現状と課題について）
- 23日 経済建設常任委員協議会（観光交流センター整備について）
- 23日 天童・寒河江両市議員交流会（正副議長、各常任委員会委員長、議運委員長）
- 30日 東根市外2市1町共立衛生処理組合議会第2回定例会
- 31日 天童・山形市議会各派会長による意見交換会（正副議長、各派会長）

■ 8月

- 4日 各派代表者会（人事案件について）
- 5～7日 かがやき行政視察（志木市、富士宮市、世田谷区）
- 8日 山形県市議会議長会議員研修会（ビッグウイング）
- 11日 議会運営委員会（模擬議会について）
- 11日 模擬議会説明会（模擬議員〈児童・生徒〉）
- 12日 各派代表者会（人事案件について）
- 18日 経済建設常任委員協議会（観光交流センター整備について）
- 20日 議会だより編集委員会（副委員長の互選）
- 22日 議会運営委員会
- 22日 各派代表者会（財政健全化法に係る対応について）
- 29日 議会だより編集委員会

■ 9月

- 19日 議会運営委員会（最終日の日程について）
- 22日 議会だより編集委員会
- 26日 議会運営委員会（模擬議会について）
- 26日 議会だより編集委員会
- 29日 4市2町議会懇談会（正副議長・局長）

■ 10月

- 1日 市制施行50周年記念式典（全議員）
- 3日 経済建設常任委員協議会（道路の現状等について）
- 5日 市制施行50周年記念事業「模擬議会」（小中学生の模擬議員20人）
- 6～8日 政和会行政視察（長岡市、輪島市）
- 8～10日 かがやき行政視察（大村市、合志市）
- 9～10日 つばさ21、無党派（地域医療政策セミナー・東京）
- 20日 議会運営委員会（臨時会の運営について）
- 21日 第4回天童市議会臨時会
- 22日 議会だより編集委員会



総務教育常任委員会で市内の文化財（若松寺）等を視察 7/23

意

見

書

9月22日に議員提出の意見書2件が可決され、9月25日付けで関係機関に送付されました。

地方財政の充実・強化を求める意見書

（抜粋・要約）

住民に身近な地方自治体が政策や税金の使途を決定し、地方分権の理念に沿った地方自治体運営を行えるよう、次のことを強く求めます。

- 1 国と地方の税収配分が5：5となる税源移譲及び地方交付税制度の強化により、地方財源の充実強化を図ること。
- 2 地方自治体間の財政力格差は、地方自治体間の財政調整によることなく、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化により是正を図ること。
- 3 地方自治体の財政の健全化に関する法律に基づく財政指標のみで必要な公共サービスが削減されることのないよう、十分な財政措置を行うこと。
- 4 地方自治体間の教育格差是正のため、義務教育費は全額国庫負担とすること。
- 5 地域住民・地方自治体の意見を十分に踏まえた対応を行うこと。

（衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣あて）

生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書

（抜粋・要約）

国民生活及び地域経済の安定確保、並びに生活品の物価高騰に伴う実質所得低下を緩和するため、次のことを強く求めます。

- 1 所得税の減税
- 2 生活困窮者に対する補助金制度の創設
- 3 生活扶助基準に対する物価上昇分（3％程度）の上乗せ

（衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣あて）

● 教育委員会委員の任命に同意 ●

沼澤 政 辰 氏
水戸部 知 之 氏

現教育委員会委員武田良一氏及び水戸部知之氏が、平成20年9月30日をもって任期満了となることに伴い、武田良一氏の後任として新たに沼澤政辰氏（北久野本、66歳）を任命するとともに、水戸部知之氏（奈良沢、63歳）を再び任命することに同意しました。

決算特別委員会

一般会計(歳出) 176億5321万6000円を認定

平成19年度一般会計決算のほか、10件の特別会計及び水道事業、市立病院事業会計決算が提出され、決算特別委員会に付託されました。審査の主な内容は次のとおりです。

環境ISOは独自の方式で

委員 平成15年2月にISO14001の認証を取得して5年経過した。来年2月までの認証を受けているが、今後継続するののか。
総務課長 これまで燃料や電気などの使用量削減に努めてきた。平成21年度からは天童市独自の方式で、継続的に取り組み、地球温暖化防止に努めたい。

当初予定地と違う保留地を取得

委員 当初予算では楯ノ町12街区を取得すると言ったが、議会に説明もなく、スイミングスクールの保留地を取得した。にわかに出てきたこととはいえず、変更の手続きが必要では。

財政課長

温泉街に葬祭センター建設の話が出て、温泉組合からの反対もあり、議会とも協議した結果、スイミングスクールと交換することになり、スイミング用地が保留地であったため、保留地を取得する必要があった。確かに事前に説明すべきであったと反省している。

住宅用火災警報器設置世帯は6・2%

委員 住宅用火災警報器の設置が新築家屋は平成18年6月1日から、既存家屋は平成23年5月31日まで義務づけられしたが、設置状況と今後の啓発について伺う。

消防長

設置の届け出義務はないが、平成20年9月1日まで届け出があったのは、1237戸で全戸数の6・2%である。建築確認時に設置義務のお知らせを行うとともに、自主防災会連絡協議会の総会で器械の展示を行うなど、啓発に努めていく考えである。

フッ素洗口の今後の方針は

委員 4つの小学校でフッ素洗口を実施したが、学校によつては38%の実施率である。朝の貴重な時間が割かれることや、薬剤・紙コップ等資材の管理など、課題もあるようだが、今後の方針は。

教育総務課長

天童市は虫歯率が県内でも高く、歯科医師会の奨めで実施した。データはまだないが3〜4年すれば効果が出ると思っている。保

護者の同意を前提に、年次計画で進めたい。今年度の実施校については検討中である。

みどり環境税の支出内容は

委員 天童市における山形県みどり環境税の支出内容について伺う。
農林課長 県全体では約5億

討論

認第1号平成19年度一般会計決算及び認第4号用地買収特別会計決算について、決算特別委員会では認定すべきとの報告でしたが、9月22日の本会議で反対の討論があり、採決の結果、賛成多数で認定されました。

《反対》

県下に先駆けた乳幼児医療費の完全無料化は子育て支援の前進面として評価するが、住基システムは個人情報不安が守れる保証はない。国民保護計画も国の言いなりに事を進めることを危惧する。
芳賀土地地区画整理事業への

5000万円、天童市は約2600万円の納収となった。その内天童市には、156万円のみどり環境交付金として交付された。天童市みどり環境フェア、農業者トレーニングセンターへのペレットストーブの導入、小中学生への木工教材の提供などに充てた。

負担金支出にも慎重な対応を求める。わくわくランドの屋外ステージや多目的広場の利用拡大に何の努力もみられない。さらに小学校の集団フッ素洗口は、学校現場で教師の多忙さの中で誤飲を誘発しかねず、慎重に再検討すべき。歳出総額に占める農林水産費は2・7%と年々減額されている。農政の多くは国の施策だが、担い手育成、地産地消など自治体独自の対策を強く求める。

また一般会計から1億5000万円を用地買収会計に繰り出し楯ノ町12街区の保留地を取得すると言ったが、議会に説明もなく、別の保留地を取得したのは問題。



整備が完了し、新たにスタートした市民病院

電気式生ゴミ処理機の購入設置を補助

委員 電気式生ゴミ処理機購入設置補助事業委託料の40万4500円の内容は。

生活環境課長 市は事務手続きの簡素化を図るために、天童市環境衛生組合連合会に委託している。購入してから保証書と領収書を持参して申請でき、一台あたり2万円を上限に補助している。昨年度は、22台分の申請があり、この金額になったものである。

電気式生ゴミ処理機の購入設置補助

〈申請の仕方〉
電話での申込→購入→申請・請求手続き
→補助金交付

天童市衛生事務局
654-1111 内線273・274

〈対象者〉・市内に住所を有し、積極的にごみの減量、リサイクルに取り組もうとする方。
〈補助額〉・処理機本体購入金額の3分の1（千円未満切捨て）とし、20,000円が上限。
〈その他〉・一世帯1台限り（中古品は除く）

工業団地整備の進捗状況は

委員 東長岡地区と荒谷西地区の工業団地整備の進捗状況はどうなっているか。



工業団地予定地の東長岡地内

工業団地整備室長 東長岡地区には5社から要望を受けており、現在許認可に向けた手続きを取っていると、速やかに分譲できると考えている。

荒谷西地区には10数社から要望があり、東北農政局と事前協議を進めているところである。具体的な申請行為までは至っていないが、できるだけ速やかに分譲できるように努力していきたい。

一人暮らし高齢者 激励会助成金支給の現状は

委員 いきいきサロンに「一人暮らし高齢者激励会助成金」を支給しているが、現状は「**高齢社会課長** いきいきサロンの設置箇所は、平成19年度

市内各地で38カ所となる。その中で、一人暮らしの高齢者を対象とした激励会を開催している31サロンにおのおの3万円を支給した。今後もしいきいきサロンの設置数を増やして地域での交流をより活発にできるように考えている。

野球場の西側用地は どう活用するのか

委員 スポーツセンターの西側の用地2050㎡を買収したが、その活用はどうするか。

体育課長 野球場利用者のアップグラウンドや、現在野球場周辺にあるパークゴルフのコースが、道路拡張に伴い一部移転が必要であり、移転整備を図るなどして活用したい。



パークゴルフコースなどに活用する買収地

平成19年度水道事業の概要

◆経営

当年度純利益 91,811,131円
当年度未処分利益剰余金 92,470,398円

◆業務（前年比）

給水件数 23,285件 (0.4%減)
給水人口 62,484人 (0.2%減)
一日平均給水量 19,385㎥ (5.1%減)
普及率 99.2% (0.1ポイント増)
有収率 91.1% (0.9ポイント増)

平成19年度市立天童病院事業の概要

◆経営

当年度純損失 354,618,210円
当年度未処理欠損金 1,304,949,951円

◆業務（前年比）

入院患者数 13,298人 (0.7%減)
外来患者数 47,365人 (0.9%減)

平成19年度 各会計の決算額

(単位：千円)

| 会計名 | 歳入 | 歳出 |
|-----------|------------|------------|
| 一般会計 | 18,242,049 | 17,653,216 |
| 特別会計 | 19,241,891 | 19,020,856 |
| 国民健康保険 | 6,037,148 | 6,009,653 |
| 老人保健 | 5,748,530 | 5,711,660 |
| 用地買収 | 156,553 | 156,035 |
| 財産区 | 2,469 | 1,439 |
| 交通災害共済 | 15,850 | 11,949 |
| 都市計画公共下水道 | 3,388,544 | 3,370,196 |
| 老野森土地区画整理 | 249,711 | 230,759 |
| 楯ノ町土地区画整理 | 393,462 | 383,987 |
| 介護保険 | 3,247,594 | 3,143,908 |
| 市民墓地 | 2,030 | 1,270 |

予算特別委員会

特別会計補正予算など12件は可決 一般会計補正予算を否決



予算特別委員会の審査風景

国のまちづくり交付金事業である天童北部地区及び天童古城地区の事業費の計上や、工業団地整備の円滑な実施のために特別会計への操出金の計上、小学校校舎の耐震診断の前倒し費用など、合わせて8億7703万7000円を増額する一般会計補正予算と各特別会計補正予算11件と新たに創設された工業団地特別会計予算は、予算特別委員会に付託され、9月16日に審議されました。翌9月17日に行われた採決では、一般会計補正予算は賛成少数で否決され、その他の議案は原案のとおり可決されました。

9月22日の本会議においても同様の結果となりました。審査の主なものは次のとおりです。

天童公園の公有化

委員 まちづくり交付金を利用した都市施設整備費のうち、天童公園（舞鶴山）の民有地取得に関して、この時期に補正予算を組んでまで購入しなければならぬ緊急性はあるのか。さらには、土地購入後の整備計画はあるのか。

都市計画課長 今回の土地購入は、舞鶴山の愛宕沼から東の一带、約26ヘクタールの民有地を72名の地権者から購入する計画である。まちづくり交付金の内示が国から出たため、これを機に総合公園として都市計画決定されている舞鶴山の民有地を可能な限り公有化し、整備しようとするも

のである。

今後の整備にあたっては、

「観光とレクリエーションの森」の整備方針に従い、自然体系を壊すことなく遊歩道や公衆用トイレの整備、植栽などを行う計画である。



民有地が散在する天童公園

妊婦健診の公費負担

委員 母子保健費における母子健診等委託料142万6000円について。

児童家庭課長 天童市では、平成20年4月1日より、妊婦健康診査費用の公費負担を5回実施しているが、10月から、さらに第3子以降の妊婦健康診査を対象に9回分を加え計14回分の一部公費負担を実施する。

健康診査項目は①問診・診察②血圧及び体重計測③尿検査となっている。

納税相談員を配置

委員 納税相談員を配置するが、目的と時期と人材について伺いたい。

納税課長 高額滞納者が増え、特別国税徴収官の経験がある税務署OBを10月から3月31日まで、週4日、嘱託で雇用する。

滞納者の財産調査や個別対応などの指導・助言。差し押さえなど具体的な指導をしてもらう。

小・中学校の耐震診断について

委員 耐震診断が必要な全ての学校の第二次診断の予算に、2410万円が計上されているが、どの学校で、どのような業務か。

教育総務課長 国の緊急対策の補助事業を活用できるか判定を受けるため、昭和56年以前に建設された校舎について耐震診断を行う。

中学校は今年度行っているが、来年度予定していた7つの小学校の12棟の耐震診断を前倒しで行う。



小学校校舎の耐震診断が必要

ひかり保育園跡地の利用計画

委員 天童北部地区においてひかり保育園の跡地を「ひかり交流広場」として整備する計画だが、設置するトイレや耐震性貯水槽などの施設が高額なものとなっているがその内容は。

都市計画課長 北久野本地域において、災害時の一次避難場所確保、狭隘な道路の整備を5カ年で順次すすめる予定である。そのうち、今回はひかり公園の整備と二本の道路整備を行うものであるが、ひかり公園には、防災対応型の水洗トイレ・四阿・広場の整備などを8100万円で、



跡地利用が検討されているひかり公園跡地

災害時の一次避難場所として飲料水確保を兼ねた耐震性貯水槽を4900万円で設置する計画である。

アスベスト再調査

委員 アスベスト分析調査費用100万円の内容は。

危機行革管理室長 平成17年に22カ所の市有施設を調査しているが、今年1月に新たにアスベスト混入の素材3物質が発見されたため、ボイラー室や電気室、ポンプ室など、アスベストの使用がないとされていた、8施設12カ所について再調査する費用77万円と含有量調査費用18万円などである。

米飯給食の増加

委員 地域米消費拡大対策事業196万3000円について。
農林課長 県が小・中学校の米飯給食の回数日本一を目指し、週3・8回以上を目標とするため、9月以降、米飯給食を7回追加する費用である。パンから米飯に切り替わる分の差額は小学校で12円、中学校は15円と見込んでいる。

県産食材を使ったおかずを1品増やすため、さらに小学校で30円、中学校は40円費用が増加する見込みである。
対象人数は、小学生が4035人、中学生が2015人である。

レジ袋の無料配布中止

委員 環境衛生事業費の中の消耗品費30万円について。

生活環境課長 天童市では、10月1日からレジ袋の無料配布を中止することになっており、マイバッグ持参をより一層進めるため、のぼり旗を作成し、また、ポケットティッシュなどを配布することになっている。今後も参加事業所を増やして、ゴミ減量化を推進していく。



10月1日からレジ袋の無料配布が中止された

第4回臨時会を開催

平成20年度第4回市議会臨時会が10月21日に開催され、市長提出の議案3件が審議され、原案のとおり可決されました。

▼議第31号平成20年度天童市一般会計補正予算(第3号) 9月定例会で提案され、否決された内容から、まちづくり交付金事業に係る事業費を除き、4億5493万7000円を追加する内容で再提案されました。審議のあと、討論がありました。

討論〈反対〉

今回の補正予算の計上の仕方が問題ではないか。

9月の補正予算と比較すると、4億2210万円が減額されているが、その中で財政調整基金に積み立て

る5365万円も、まちづくり交付金事業があったため一般財源として手当てされたものである。

まちづくり交付金事業がなくなった今、歳入に計上する必要はないのではないかと、4億128万7千円を追加する補正予算を提案すべきと考え、反対討論とする。(討論のあと採決の結果、賛成多数で可決されました。)

▼議第32号工業団地整備事業用地の取得について 東長岡地区の工業団地整備事業用地を取得しようとするもの。

▼議第33号工業団地整備事業に係る土地調査成果品の取得について 用地測量などの成果品を市土地開発公社から取得しようとするもの。

予算特別委員会

委員長辞任に伴い変更

8月29日、佐藤正男委員長から辞任願いが提出され、新たに委員長が互選されました。

委員長 水戸 保

討 論

9月22日の本会議において議第10号平成20年度天童市一般会計補正予算(第2号)について討論がありました。

《反 対》

今回の補正予算に、都市施設整備費4億7000万円が含まれている。この案件は3月定例議会で委員会否決を受け、予算修正の過程で削除された流れを汲むもので、修正に至る段階で今後充分に準備し、説明責任を果たした上で、再提案するということだった。この半年間何の説明もないまま大幅に増額された予算が提案された。内容を把握するため資料請求をしたところ、全く新しい初めて聞く事業が多く組み込まれている。その中で特に問題なのは、耐震性貯水槽整備4900万円は、なぜ必要なのか、災害時を想定するのなら防災部門とも協議し、市全体の計画に

組み込んだ上で提案すべきである。また、具体的な公園化構想不在で舞鶴山26を1億9000万円取得するといふのは納得できない。いずれも緊急性という側面が無いことも考えれば、補正予算で審議すべきものではない。

《賛 成》

予算特別委員会で、反対の理由を示さずに否決した。説明不足などの意見もあるが、予算特別委員会審議で資料も提示し、十分説明している。それにもかかわらず、国のまちづくり交付金を活用した、住宅密集地である北久野本地区へ100ト規模の飲料水兼用耐震性防火水槽を建設する予算、舞鶴山の民有地を買収し公園整備を行う予算を否決した。これまで交渉してきた国、県との信頼関係を大きく損なうことになる。さらに、小学校の耐震診断費、企業誘致のため急がなければならぬ工業団地整備費、国からの全額補助で行なう不登校対策費な

どの予算をすべて否決した。市民のために、この本会議では賛成してほしい。

《反 対》

まちづくり交付金事業は事業費の4割は交付金で措置されるが、残りの75%は起債対応であり、十分な検討と慎重な判断が必要。総合的・一体的なまちづくりができる制度だが、対象事業が幅広いので、必要性・優先度等を判断し、5カ年計画を作り、執行部の統一した見解をもって予算を提案すべき。

天童公園の山林・原野・畑26を一気に購入する意図が不明。来年3月までの売買契約は至難の業。購入後の整備計画も明確でないまま土地を購入することに市民の理解は得られない。まちづくり交付金事業は、事業間の流用が自由にでき、流用される可能性も否めない。当初予算審議の際に指摘した点について、何の説明もなく、5カ年計画の全体像も示されていない。

不要不急の予算措置であり反対する。

《賛 成》

古城まちづくり事業の五日町中央線も観光バスや図書館の「まいづる号」も危険と隣り合わせの運行で拡幅整備は急ぐ必要がある。東西線拡幅は、住宅密集地の安心安全上からも緊急を要する。また工業団地整備事業への繰り出しも、現在、企業誘致に対応している大事な時期であり、採決次第では、進出を見合わせる企業が出るのではないかと心配である。ほかに小学校耐震調査や総務費、農林費、社会福祉費など市民生活にも影響する重要な補正予算である。特にまちづくり交付金事業は、国からの交付金であり、天童市が今後の予算を獲得するためにも、信用にかかわることであり、議案の重要性を再認識していただき、良識を持って判断していただくよう賛成討論とする。

今回の補正予算は国のまちづくり交付金の内示を受けての事業費計上が柱である。これは3月定例議会に上程されたが計画の全体像が不明確であり、市民の理解が得られないとの多数意見で取り下げられた案件である。今回もその反省もなく上程されたことは議会軽視にほかならない。北部防災まちづくりとして北久野本地域住民の強い要望である狭隘な道路の拡幅など緊急性の高い事業が繰り延べられ、一基4900万円もする貯水槽の埋設や天童古城まちづくりとして舞鶴山の民有地26を買上げるものなど、地区民の想いが反映されない全く市民不在の予算である。議会と執行部は車の両輪という原則を再認識し、議会の理解が得られる将来ビジョン、全体計画が示された予算編成が強く求められていることを申し上げ反対討論とする。

《反 対》

討論のあと、採決の結果、賛成少数で否決となりました。

9月定例会

審議日程

平成20年度第3回定例会（9月定例会）は、8月29日から9月22日までの25日間の会期で開かれました。

市長提出議案である決算議員13件、平成20年度一般会計補正予算をはじめとする予算議案13件及び条例案件等7件については、決算特別委員会及び予算特別委員会に付託され、各委員会で審査された後、最終日の本会議で採決が行われました。また、人事案件1及び議員提出案件の会議規則の一部改正についての採決も行われました。結果は下記のとおりです。

（今回提出された意見書2件については11ページに、請願審査の結果については18ページに掲載しています。）

| 月日 | 内 容 |
|----------------------|--|
| 8. 29 | 本会議（会期の決定、提案理由の説明、決算・予算特別委員会の設置など） 決算特別委員会（正副委員長の互選） 予算特別委員会（委員長の互選） |
| 9. 2～3 | 本会議（市政に対する一般質問） |
| 9. 4 | 本会議（一般議案に対する総括質疑、議案・請願陳情の委員会付託） 総務教育常任委員会（付託案件の審査） |
| 9. 5 | 環境福祉常任委員会（付託案件の審査） |
| 9. 8 | 経済建設常任委員会（付託案件の審査） |
| 9. 9 ～12 9. 16 | 決算特別委員会（付託案件の審査<質疑、討論、表決>） 決算特別委員会（一般会計決算の討論、表決） |
| 9. 16 17 | 予算特別委員会（付託案件の審査） 予算特別委員会（討論、表決） |
| 9. 22 | 本会議（委員長報告、質疑、討論、表決） |

提出された議案とその結果

（市長提出議案）

| 議案番号 | 件 名 | 結果 |
|-------|-----------------------------------|------|
| 認第1号 | 平成19年度天童市一般会計決算 | 認定 |
| 認第2号 | 平成19年度天童市国民健康保険特別会計決算 | 認定 |
| 認第3号 | 平成19年度天童市老人保健特別会計決算 | 認定 |
| 認第4号 | 平成19年度天童市用地買収特別会計決算 | 認定 |
| 認第5号 | 平成19年度天童市財産区特別会計決算 | 認定 |
| 認第6号 | 平成19年度天童市交通災害共済事業特別会計決算 | 認定 |
| 認第7号 | 平成19年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計決算 | 認定 |
| 認第8号 | 平成19年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計決算 | 認定 |
| 認第9号 | 平成19年度天童市鍛ノ町土地区画整理事業特別会計決算 | 認定 |
| 認第10号 | 平成19年度天童市介護保険特別会計決算 | 認定 |
| 認第11号 | 平成19年度天童市市民墓地特別会計決算 | 認定 |
| 認第12号 | 平成19年度天童市水道事業会計決算 | 認定 |
| 認第13号 | 平成19年度天童市立天童病院事業会計決算 | 認定 |
| 議第10号 | 平成20年度天童市一般会計補正予算（第2号） | 原案否決 |
| 議第11号 | 平成20年度天童市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第12号 | 平成20年度天童市老人保健特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第13号 | 平成20年度天童市用地買収特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第14号 | 平成20年度天童市財産区特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第15号 | 平成20年度天童市交通災害共済事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第16号 | 平成20年度天童市都市計画公共下水道事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第17号 | 平成20年度天童市老野森土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |

| 議案番号 | 件 名 | 結果 |
|-------|-----------------------------------|------|
| 議第18号 | 平成20年度天童市鍛ノ町土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第19号 | 平成20年度天童市介護保険特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第20号 | 平成20年度天童市市民墓地特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第21号 | 平成20年度天童市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | 原案可決 |
| 議第22号 | 平成20年度天童市工業団地整備事業特別会計予算 | 原案可決 |
| 議第23号 | 天童市議会政務調査費の交付に関する条例等の一部改正について | 原案可決 |
| 議第24号 | 天童市公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議第25号 | 天童市特別会計条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議第26号 | 天童市市営住宅条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議第27号 | 天童市下水道条例の一部改正について | 原案可決 |
| 議第28号 | 字の区域及び名称の変更について | 原案可決 |
| 議第29号 | 天童市土地開発公社定款の一部変更について | 原案可決 |
| 議第30号 | 天童市教育委員会委員の任命について | 同意 |

（議員提出議案）

| 議案番号 | 件 名 | 結果 |
|--------|--------------------------------|------|
| 議会案第1号 | 天童市議会会議規則の一部改正について | 原案可決 |
| 議会案第2号 | 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について | 原案可決 |
| 議会案第3号 | 生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める意見書の提出について | 原案可決 |



高嶺地区分館連絡協議会の市議会傍聴は、研修会として行われています。傍聴は本会議の市政に対する一般質問の時です。我々が選んだ議員の活動振りが拝見できます。

今回の傍聴の中で市長の市制50周年を迎えた心境はどの質問がありました。答弁の市長は声を詰まらせ、「これまでの市政の歩みに感謝し、市民が共に歩んでこられた結果である。感謝の気持ちでいっぱいです。」と感激しておられた。市長はあまり体調が良くない状況でしたが、これまでの活動に対し心からお疲れ様と申し上げる心境でした。

本会議の市政に対する一般質問は議員22名のうち、16名によるものでした。議員の中には選挙の時だけしかお会いできない方もいます。本会議は全議員から市政に関する質問を受けるこ

市議会を傍聴して

見立正之(清池)

とはいかがでしょうか。質問事項を考えるには、相当の努力が必要です。日頃、市民との係わり合いの中で、市民がどんなことを考えているのかを汲み取って、そしてまとめて、市民憲章の中にある、美しいまち、明るいまち、あたたかいまち、豊かなまち、住みよいまちの天童市をつくること

市民と膝を突き合わせて、今、何が問題なのか、どんなことをすればもつともっと良くなるのかを市民と共に解決していくことです。日頃の市民との活動は本会議の一般質問にも大いに反映されます。

市民が良くなるためには地元が良くなること、地域(市)、地方(県)、が良くなること、そして、国が良くなることです。天童市は県内の市町村の中でもいろいろな面で恵まれています。お互いの力を出し合って、より良い「まち」に導いてください。議員には地元での力強いリーダーシップが求められます。

請願・陳情の結果

今定例会で審議された請願・陳情は6件で、所管常任委員会で審査したあと、結果は次のようになりました。

| 件名 | 提出者 | 付託委員会 | 結果 |
|---|----------------------|-------|------|
| 北久野本地域の安全・安心まちづくりに関する請願 | 北久野本町内会 会長 山川茂男 | 経済建設 | 採択 |
| 地方財政の充実・強化を求める請願 | 連合山形地域協議会 議長 大浦 淳 | 総務教育 | 採択 |
| 生活品の物価高騰に対する緊急対策を求める請願 | 連合山形地域協議会 議長 大浦 淳 | 総務教育 | 採択 |
| 地域医療の拡充を求める請願 | 連合山形地域協議会 議長 大浦 淳 | 環境福祉 | 継続審査 |
| 石油、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める意見書の提出を求める請願 | 天童市農民組合 組合長 太田正良 | 経済建設 | 継続審査 |
| ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書の提出を求める請願 | 天童市農民組合 組合長 太田正良 | 経済建設 | 不採択 |

12月定例議会の日程(予定)

- 12月1日(月) 開会
- 4日(木) 一般質問
- 5日(金) 一般質問
- 8日(月) 総括質疑、常任委員会
- 9日(火) 常任委員会
- 10日(水) 常任委員会
- 11日(木) 予算特別委員会
- 12日(金) 予算特別委員会
- 17日(水) 閉会

※ 請願の締め切りは、11月21日(金)正午までの予定です。

※ なお、日程は変更になる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

決算特別委員会

正副委員長を互選

8月29日の決算特別委員会で、委員長、副委員長が互選されました。

委員長 鈴木 照一
副委員長 結城 義巳

議会だより編集委員会

副委員長辞任に伴い変更

8月6日、木村竹虎副委員長から辞任願いが提出され、会議への出席が困難な事例があったため、同日付で受理されました。

8月20日の議会だより編集委員会で、新たに副委員長が互選されました。

副委員長 浅井 健一

編集後記

模擬議会開催は、議員にとっても刺激になった。子どもの視点とはいえ、生活実感から発せられる質問は鋭く、納得するものがある。臨時議会で補正予算が可決されたが、課題はまだ山積している。

《議会だより編集委員会》

委員長 山口 桂子
副委員長 浅井 健一
委員 伊藤 和子
委員 鈴木 照一
委員 狩野 佳和
委員 矢吹 栄修